

## 「ISMS 情報セキュリティ基本方針」

東北メディカル・メガバンク機構における統合データベース室、バイオバンク室、試料・情報分譲担当（以下「3室」という。）の使命は、東北メディカル・メガバンク機構が構築する複合バイオバンクの開発・管理・運営である。この複合バイオバンクには 15 万人のボランティアより委託された試料・情報が格納され、未来型医療を目指した研究開発に利用される。したがって 3 室の使命は、格納される情報の機密性と完全性の保全と、研究開発への可用性の確保である。複合バイオバンクに格納される情報は、スーパーコンピュータが必要となるまでの大規模データであり、そのセキュリティの確保は、第一に対応が必要な課題である。

そのために、3 室は、情報や計算機及びネットワークなどの情報資産を重要な資産とし、保護・管理を行う。3 室は、情報資産を保護する「情報セキュリティマネジメント」を実施するために、「情報セキュリティマニュアル」を策定する。「情報セキュリティマニュアル」は、3 室の情報資産を、故意や偶然という区別に関係なく、改ざん、破壊、漏洩等から保護するための管理策をまとめた文書である。

複合バイオバンクの情報資産を利用する者は、情報セキュリティの重要性を認知し、この「情報セキュリティマニュアル」を遵守しなければならない。

1. 適用範囲 3 室内基準を確立してリスク評価を実施し、重要な情報資産と関連する脅威やぜい弱性を全室的に認識し、適切なリスク対策を実施して、情報資産への不正アクセス、紛失、破壊、改ざんおよび漏えいの予防等、情報セキュリティ事件事故の発生を防ぐよう努めます。
2. 情報セキュリティ目標を策定し、その達成に努めると同時に、全構成室員に対して情報資産と情報セキュリティの重要性を認識させ、情報資産及び設備・機器の適正な利用を周知徹底します。
3. 万一情報セキュリティ上の問題が発生した場合、迅速な原因究明を行い最小限の被害に食い止める最善の策を講ずるとともに、予防及び維持改善に努めます。
4. 前記の情報セキュリティ基本方針の活動を継続的に実施し、新しい脅威にも対応出来るような、管理体制を確立します。
5. 万一、法令規制要求事項及び機構内規程に違反した場合、就業規則などに定める罰則を適用します。
6. 当基本方針は常に見直しを行い、継続的改善に努めます。

2022 年 5 月 12 日

東北メディカル・メガバンク機構

統合データベース室長 荻島 創一  
バイオバンク室長 熊田 和貴  
試料・情報分譲担当リーダー 大根田 絹子